

清水寺仁王尊



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	せいすいじにおうぞう
所在地	真庭市関 清水寺
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	阿形像(像高198.0cm)、吽形像(像高199.3cm)の2軀。寄木造、彫眼。眉を逆立てて眼を見開いた忿怒の表情には迫力があり、胸部の隆々とした筋肉の表現は全身を躍動させてバランスよい像となっている。彩色は剥落し、天衣も後の補修とみられるが、室町時代の作と考えられる。
アクセス方法	中国自動車道北房ICから車で約15分／同落合ICから車で約20分
公開状況	格子越しに見学可
設備	トイレ  駐車場 
備考	清水寺に申し出れば開扉して下さるとのことです。